



生徒どうしお互いのプレーを撮影

Aコート			Bコート		
3	2	1	1	2	3
×		×	●	●	●

シャトルの落下位置

活用場面

一斉学習
教師による教材の提示

個別学習

個に応じた学習
思考を深める学習

協働学習

発表や話し合い
協働での意見整理

活用した機器等

Chromebook
iPad

活用したアプリ等

カメラ機能
Google スプレッドシート
YouTube

学習のねらい

バドミントンの試合における競技者の動きを分析し、プレーをするうえでの自他における課題を発見するとともに、その解決策を考える。どのようなプレーが空間を作り出すことにおいて効果的かを分析し、それぞれが考えたことを他者に伝える。

学習の流れ

導入

既習のショットを活用したり、作戦を立てたりして試合をする。
ラリー中のシャトルの動きや点数が決まったときのシャトルの落下位置を記録する。



展開

試合の記録をもとに課題解決チームで話し合いをし、どのようなプレーが空間を作り出すことにおいて効果的なのか、仲間のストロングポイントを生かすにはどうすればよいかを考える。



まとめ

展開で話し合った内容を生かしチーム練習に取り組む。また、自他の課題について振り返り次の時間の目標を立て、どのような力を身につけたいかを確認する。



ここでICTを活用！

- ①iPad等を使って試合全体の様子を撮影し、課題解決チームで仲間や相手の動きを繰り返し確認した。また、仲間や相手の特徴を客観的に見たり、動きを確認したりして空間を作り出すための課題を分析した。
- ②ラリー中のシャトルの動きや点数が決まったときのシャトルの落下位置を共同編集できるGoogleスプレッドシートに記録し、作戦を立てる際だけでなく、自身や相手の動きの分析をする際に使用した。
- ③導入時では既習のショットの模範的な動き、展開時では様々なショットの活用場面をYouTubeなどの動画サイトで確認をした。また、得た知識や技術を参考にして課題解決チームで話し合いをし、どのようなプレーが空間を作り出すことにおいて効果的かを考えた。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

ICTを活用し試合の様子を記録することで、生徒は「どのようなプレーが空間を作り出すことにおいて効果的なのか」を分析したり、自身や仲間の「得意なプレーや課題」を発見したりすることができた。展開時に作戦タイムを取り入れることで意見の交換が活発になり、運動が苦手な生徒もiPad等で撮影した動画やGoogleスプレッドシートに記録したデータをもとに発見した自他の課題を仲間に伝え、協働して解決していく過程を楽しむ姿が現れた。また、その後もチーム内で積極的に練習を行い、次回の目標を達成するためにさらなる技能の向上をめざしていた。